

《資料紹介》

阪谷家所蔵「阪谷芳郎関係文書」とその目録

西尾 林太郎

伊藤 真希

阪谷芳郎とその関係文書について

ここに紹介する資料は、明治・大正そして昭和戦前期を代表する財政家であり政治家の一人である阪谷芳郎(1863—1941)のそれであり、今回阪谷家から提供を受けたものである。阪谷の経歴についてはここで詳しく紹介するまでもないと思うが、簡単に記しておきたい。

阪谷芳郎は儒学者阪谷素(1822 - 1881、しろし、朗廬と号した)の四男として、文久3(1863)年岡山県後月郡西江原村に生まれた。父阪谷素は幕府倒壊後東京に出て、ひとり漢学者として福沢諭吉ら洋学者による明六社に参加した。芳郎は幼少期以来、漢学を父素に、その後東京で英学を箕作秋坪にそれぞれ学び、東京英語学校、大学予備門を経て明治17(1885)年東京大学文学部に入学。政治学・理財学を修めた。当時の文学部は哲学、政治学、理財学、和漢文学の4つの学科に分かれ学生の教育に当たっていたが、阪谷は政治学と理財学を専攻した。当時の東京大学では、政治学そして理財学すなわち財政学を含む経済学の修学コースは文学部に置かれており、法学部ではなかったのである。同期に添田寿一(政治学・理財学専攻)、一年先輩に三宅雪嶺(哲学専攻)、穂積八束(政治学・理財学専攻)、坪内逍遙(政治学・理財学専攻)がいた。彼は、そこで工部大学の講師も勤めたフェノロサに哲学史や理財学を学んだ。英語によったその貴重な講義ノートが今日に遺されている。

明治43年度版『東京帝国大学一覽』(1910年刊)にはその文学部の明治17年度卒業生名簿のトップに阪谷の名前が見られる。彼はその年の文科大学卒業生の首席であった。

卒業後阪谷芳郎は大蔵省に入った。大学の理財学の講師でもあった大蔵省小書記官田尻稲次郎の推薦によったという(故阪谷子爵記念事業会編・刊『阪谷芳郎伝』1951年刊、83ページ)。妻は渋沢栄一の次女琴子。入省後、芳郎は主計官、参事官、主計局長を経て、明治34(1901)年大蔵総務長官(大蔵事務次官)に就任した。松方大蔵卿の登場以来明治政府の財政は「松方財政」として特徴付けられようが、阪谷はその中枢にいたのである。阪谷はさながら松方財政とともにあったと言ってよい。明治39(1906)年、彼は第1次西園寺内閣の大蔵大臣となり、翌年9月勲功により華族に列せられ男爵に叙せられた。

大蔵官僚としての彼の体験と人生は、内務省と並び立つ役所の双壁として明治国家における大蔵省の政治的地位の確立の過程と重ね合わせることができる。阪谷は大蔵省を政府の中核とし、自ら〈ミスター大蔵省〉を任じていた。ちなみに、大蔵総務長官時代に彼は外国の投資家に対し「内閣がいかに変われども大蔵省の執務は安定継続して滞ることなし。大蔵省の組織は今後も常に今ある如し。いわば大蔵省は政府の枢要なり」(R. ハンソン『大蔵エリート』

TBSブリタニカ、1996年、283ページ）と書き送り、そして高等文官試験に合格し大学卒業を目前にして大蔵省に入り北京財務官の下で働き、折を見て中国に残って仕事に就くことを希望する長男希一（1889 - 1957、満鉄理事、華北聯銀顧問）に対し「お前は一生を大蔵省で貫く覚悟があるか。・・私の大切な大蔵省を腰かけにしようとするのは不心得だ」（阪谷芳直『三代の系譜』、みすず書房、1979年、288ページ）と叱責するほどであった。

明治41(1908)年1月、芳郎は41年度国鉄特別会計予算編成問題をめぐる閣内不一致の責任を取り、蔵相を辞した。こうして、25年間にわたって「松方(正義一筆者注)と共に殆どわが財政の運営を担当し来った」(『阪谷芳郎伝』、1951年314ページ) 阪谷は大蔵省を去った。この年彼は米国・欧州諸国を歴訪し、各国元首や各界の指導者と会見してシベリヤ経由で帰国している。さらに明治44(1911)年7月、シベリヤ経由でスイスのベルンに至りカーネギー平和財団の国際会議に出席し、スコットランドの別荘にカーネギーを訪れている。そしてアメリカに渡り、國務長官ノックスや前國務長官ルート等政界の指導者と会見し、日米関係について意見交換をしている。

明治45(1912)年1月、阪谷は中華民国臨時大總統孫文の依頼により、中国經濟の安定化と財政基盤の確立のため国立中央銀行設立の意見書を作成した。同年7月、尾崎行雄の後を受け東京市長に就任、行財政整理を実行する一方、東京の道路、港湾、上下水道など都市インフラの整備に尽力した。また明治神宮の造営とその周囲の環境整備に努めた。しかし、就任3年目に起きた、東京市による東京電燈会社と日本電燈会社の買収不調の責任をとり、彼は東京市長を辞した。

大正4(1915)年、日本はイギリス政府の要請もあり協商側について第1次世界大戦に参戦した。翌大正5年4月連合国内閣會議がパリに開催され、阪谷は特派委員長として同會議に出席した。會議終了後、彼はイタリア、スイス、イギリスを歴訪し、アメリカ経由で帰国した。半年余りの長期にわたる外遊であった。この写真はこの外遊の際パリの写真館で撮影したものであり、芳郎53歳の時のものである。

帰国して間もなく貴族院男爵議員の補欠選挙があり(大正6年1月)、阪谷はこの選挙で男爵議員に互選され、貴族院に議席を得た。これ以降、大日本平和協會会長、中央統計委員会会長、専修大学学長など各種の社会活動に加え、阪谷の活動の舞台は貴族院にも移って行った。ほどなく、彼は男爵議員の院内会派・公正会の領袖として、また貴族院の論客として政界に重きをなして行った。なお、阪谷は死去する直前に子爵に昇爵している。

ところで、今回当研究室が一時寄託を受けた阪谷家文書中の阪谷芳郎関係文書であるが、すでに芳郎自身そして芳郎に資料の整理を依頼された人物、さらに長男希一や次男俊作(1892 - 1977、戦前、東京帝国大学付属図書館員、名古屋市立名古屋図書館初代館長、戦後、国会



1916年パリのモンマルトルの写真館にて撮影

図書館一般考査部長、静嘉堂文庫長をそれぞれ歴任)によりそれぞれ取りまとめられ、あらかし整理されていた部分も少なくない。例えば「ベルン経済会議書類」と題され、書簡の束が一括してまとめられていた。このような場合、目録作制にあたり、原所蔵者や関係者の意志を最優先することとし、必ずしも差出人についてあいうえお順に再整理しなかった。また、それぞれのブロックに付けられた表題についても、原則としてそれを踏襲することとした。しかし、それ以外については個人一団体に分け、それぞれあいうえお順に排列した。

なお、芳郎の死後、戦災を免れた膨大な資料群が遺されたが、米軍による阪谷芳郎旧居（東京の小石川にあった）の接収に対応するため、孫である故芳直氏により保存する資料の選択がなされ、かなりの部分が廃棄されたという。故芳直氏は『阪谷芳郎東京市長日記』（尚友叢書 12、2000年刊）の「巻末の記－祖父阪谷芳郎について－」で、こうして遺された資料が国会図書館に寄贈された経緯について、詳細に祖父の思い出と共に語っている。

さて、今回の阪谷芳郎関係文書の特徴は、ベルン平和会議に関する諸家書簡類と阪谷が設立・運営に関わった「帝国飛行協会」などいくつかの協会や団体、および明治神宮、1920年代の日米関係の書類や書簡が混在しつつもそれがそれぞれ纏められ、束になっていたことである。数量にして540点余りである。

櫻井良樹氏によれば、2013年2月現在に判明しているだけでも、阪谷芳郎関係文書は6か所に分散して存在する（櫻井良樹「阪谷芳郎の遺した文書」、専修大学編『阪谷芳郎関係書簡集』、芙蓉書房、2013年、所収）。①国会図書館憲政資料室、②専修大学、③東京大学社会科学研究所、④学習院大学東洋文化研究所、⑤渋沢史料館、⑥明治神宮の6か所である。これらの機関の所蔵内容にはそれぞれ特徴があるが、数量的にも内容的にも最も纏まっているのが①と②である。②については2013年に翻刻され、刊行されている。

今回の芳郎関係資料との関係でいえば、カーネギー財団、連合国経済会議、パリ講和会議、臨時法制審議会などの資料は①や②のものと同補完関係にあるといえるし、帝国飛行協会、東京港振興会、海事銀行関係のものは今回が初めてであるし、芳郎が大きく関わった明治神宮関係の纏まった資料は⑥を除いて①～⑤には無いものである。また、希一の妻寿子（ひさこ）の実家である三島家の家政整理に関する資料も華族史研究にとって貴重であろう。

それぞれの機関の所蔵内容の特徴や数量そして所蔵に至った経緯については前掲『阪谷芳郎関係書簡集』所収の櫻井良樹氏による解題「阪谷芳郎の遺した文書」に譲るとして、今回愛知淑徳大学交流文化学部西尾研究室が一時寄託を受けるに至った経緯について一言述べておきたい。芳郎の令孫故阪谷芳直（1920 - 2001、日本銀行、日本輸出入銀行・アジア開発銀行勤務、神奈川大学短期大学部教授、〔社〕尚友倶楽部理事）氏の四女で今日阪谷家の後継者である阪谷綾子氏から、西尾に阪谷家が保持してきた芳郎および希一の関係資料について調査の依頼があったのは平成25年5月のことである。それより少し前、希一の関係資料の一部を西尾研究室で借り受け、華族史特に勲功華族史研究の視点から西尾と大学院研究生伊藤真希とで調査したことがあったが、今回の依頼はそのご縁によるものであった。

ともあれ、こうして阪谷家文書の調査が始まったが、開始してほぼ1年経ち芳郎関係分について大雑把な整理と調査を終えた。7番目の阪谷芳郎関係文書の存在とその内容を以下に紹介する次第である。

擱筆にあたり、資料調査の機会を与えていただいた阪谷綾子氏にお礼を申し上げたい。また、この研究調査について愛知淑徳大学より平成 26 年度研究助成をいただいた。ここに記して謝意を表したい。

阪谷芳郎関係文書

凡例①作成年月日が不明な場合、消印より推測できるものは、備考欄にその旨を記した。

②判読できない文字については一字分を□で示した。

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(1)1911 年 ベルン経済会議書類				
1	ベルン経済会議書類一括			1 包

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(2) ベルン関係 b				
1	林権助書簡		明治 44 年 7 月 31 日	1 通
2	栗野慎一郎書簡		明治 44 年 8 月 20 日	1 通
3	安達峰三郎書簡		明治 44 年 8 月 30 日	1 通
4	矢部書簡		明治 44 年 8 月 11 日	1 通
5	安達峰三郎書簡		明治 44 年 8 月 9 日	1 通
6	犬丸鉄太郎書簡		明治 44 年 8 月 12 日	1 通
7	木島孝蔵書簡		明治 44 年 8 月 10 日	1 通
8	木島孝蔵書簡		明治 44 年 8 月 22 日	1 通
9	石川源二郎書簡		明治 44 年 8 月 9 日	1 通
10	秋月左都夫書簡		明治 44 年 8 月 16 日	1 通
11	杉村虎一書簡		明治 44 年 8 月 27 日	1 通
12	牛窪第二郎書簡		明治 44 年 8 月 10 日	1 通
13	大河内書簡		明治 44 年 8 月 18 日	1 通
14	渡辺雲次郎書簡		明治 44 年 8 月 24 日	1 通
15	片山書簡		明治 44 年 9 月 12 日	1 通
16	M.A. ロース書簡		明治 44 年 9 月 25 日	1 通
17	市橋倭書簡		明治 44 年 9 月 28 日	1 通
18	一宮鈴太郎書簡		明治 44 年 9 月 23 日	1 通
19	一宮鈴太郎書簡		明治 44 年 9 月 27 日	1 通
20	埴原正直書簡		明治 44 年 9 月 21 日	1 通
21	深松善太郎書簡		明治 44 年 9 月 5 日	1 通
22	安達峰三郎書簡	18 日消印の封筒に、 20 日付の書簡も同封	明治 44 年 8 月 18 日、 20 日	1 通
23	乾精末書簡	7 月 21 日消印の封筒に、 8 月 25 日付の書簡も同封	明治 44 年 7 月 20 日、 8 月 25 日	1 通
24	ケーニツヒ書簡		昭和 3 年 5 月 26 日	1 通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(3) 帝国飛行協会関係				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	草間時福書簡	消印より推測	大正 2 年 12 月 10 日	1 通
2	草間時福書簡	消印より推測	大正 3 年 7 月 13 日	1 通
3	草間時福書簡	消印より推測	大正 3 年 11 月 7 日	1 通
4	草間時福書簡	消印より推測	大正 3 年 10 月 9 日	1 通
5	草間時福書簡	消印より推測	大正 3 年 10 月 11 日	1 通
6	草間時福書簡	消印より推測	大正 4 年 3 月 15 日	1 通
7	草間時福書簡	消印より推測	大正 4 年 2 月 20 日	1 通
8	草間時福書簡	消印より推測	大正 6 年 2 月 27 日	1 通
9	草間時福書簡		作成年なし 12 月 11 日	1 通
10	草間時福書簡	消印より推測	大正 4 年 5 月 30 日	1 通
11	草間時福書簡	消印より推測	大正 4 年 9 月 8 日	1 通
12	草間時福書簡	消印より推測	大正 3 年 4 月	1 通
13	草間時福書簡	消印より推測	大正 3 年 5 月 14 日	1 通
14	草間時福書簡	消印より推測	大正 15 年 6 月 20 日	1 通
15	草間時福書簡	消印より推測	大正 12 年 8 月 5 日	1 通
16	草間時福書簡	消印より推測	昭和 5 年 2 月 26 日	1 通
17	帝国飛行協会書簡	安部他 3 名からの電報の 転送	大正 14 年 8 月 26 日	1 通
18	谷田繁太郎書簡		昭和 3 年 8 月 22 日	1 通
19	谷田繁太郎書簡	作成年表記なし	昭和 3 年 12 月 17 日	1 通
20	不明		8 月 15 日	1 通
21	帝国飛行協会書簡	山階宮航空論文審査規 定・書類	大正 14 年 1 月 22 日	1 通
22	帝国飛行協会書簡	安田修徳会寄附・書類	大正 14 年 3 月 27 日	1 通
23	谷田繁太郎書簡	作成年表記なし	昭和 4 年 5 月 31 日	1 通
24	谷田繁太郎書簡		昭和 3 年 7 月 14 日	1 通
25	別技嘉次郎書簡	作成年表記なし	昭和 5 年 4 月 2 日	1 通
26	杉浦正雄書簡	書簡及び帝国飛行協会人 事書類	昭和 5 年 3 月 5 日	1 通
27	蟻川五郎作書類		11 月 20 日	1 通
28	蟻川五郎作書類	昭和 5 年 9 月消印の谷田 繁太郎の葉書も同封	昭和 5 年 9 月 13 日	1 通
29	小松直幹書簡	帝国飛行協会評議員関係 の書類	昭和 4 年 6 月 22 日	1 通
30	帝国飛行協会書簡	航空懇談会発起に関する 書類	昭和 2 年 5 月 19 日	1 通

31	帝国飛行協会書簡	昭和四年度民間航空慰助規定案・書類	昭和4年3月26日	1通
32	帝国飛行協会書簡	第七回理事会決議録写・書類	昭和8年3月17日	1通
33	帝国飛行協会書簡	北海道・樺太方面飛行に関する書類	昭和5年7月2日	1通
34	帝国飛行協会書簡	昭和八年度予算案及び事業案・書類	昭和8年3月3日	1通
b. 書類・メモなど				
1	帝国飛行協会善後委員会提出(小松・久能・杉浦・阪谷)		昭和4年7月11日	1通
2	帝国飛行協会草間副会長辞任についてのメモ			1枚
3	谷田繁太郎宛	益田辞任の件	[昭和]3年7月	1通
4	杉山竹次調査書		昭和4年5月10日	1綴
5	昭和4年 貸借対照表			1通
6	第五回理事会決議録写	理事会:昭和7年12月10日、写し受取:同年12月21日		1綴
7	列国航空概観	昭和9年2月17日、小野少将		1綴
8	太平洋横断飛行の経過	報知新聞切抜	昭和4年12月38日	1枚

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(4) 飛行機関係				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	磯部鉄吉書簡		大正14年1月22日	1通
2	帝国在郷航空軍本部書簡	航空殉難者追悼法会の件	昭和5年6月3日消印	1通
3	戸川政治書簡		大正6年1月9日	1通
4	日本ライトプレーン倶楽部書簡	設立趣意書・会則	大正15年6月16日消印	1通
5	長岡外史書簡	飛行クラブ発会式案内	昭和4年11月19日	1通
6	長岡外史書簡(飛行クラブ理事長)		昭和4年11月19日	1通
7	長岡外史書簡	収支計画書	昭和4年11月26日	1通
8	長岡外史書簡	昭和六年度予算書	昭和5年12月16日	1通
9	日本グライダー倶楽部書簡	事業予算	昭和5年6月15日	1通
10	名古屋飛行学校 空の友会書簡		昭和5年2月	1通
11	相羽有書簡(日本飛行学校校長)		大正14年1月26日	1通
12	川西清兵衛書簡		昭和9年2月9日	1通

13	中越飛行協会書簡		昭和7年12月	1通
b 書類・メモなど				
1	飛行館の件(メモ)			1枚
2	航空懇談会 規則・幹事・ 会員		昭和2年6月	1通
3	防空協会創立趣意書及び規約、防空協会の件(メモ)、 名刺:藤原英三郎・宇山熊太郎・石光眞臣		昭和5年1月	1通
4	日本グライダー倶楽部の 件	日本グライダー倶楽部役 員及び職員(名簿)、日 本グライダー協会会報第 一号(昭和7年4月)	昭和5年	1通
5	日本学生航空連盟規約、名刺:市川市太郎・菅野正義		昭和5年4月	1通
6	飛行クラブの件	飛行クラブ規定、会規案		1通
7	飛行クラブ設立趣意書、 飛行クラブ会規		昭和5年3月21日受取	1通
8	太平洋横断飛行費収支決 算書(帝国飛行協会)		昭和3年11月13日	1綴
9	飛行クラブ会員名簿(昭 和4年11月)			1冊

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(5) 関東震災関係				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	東京震災記念事業協会書簡		大正13年12月26日消印	1通
2	区画整理制度改善期成同 盟会事務局書簡	東京都土地区画整理改善意見書(大正14年10月15 日)、日本仏教新聞号外(大正14年10月20日)		1通
3	津村重舎書簡(第14区区 画整理委員会議長)	土地評価ニ関スル建議書 同封	大正13年11月8日	1通
4	津村重舎書簡(第14区区 画整理委員会議長)	区画整理ニ関スル質問書 ノ件及び呉服橋路線並新 設新橋路線取括方ニ関ス ル陳述書同封	大正13年9月13日	1通
5	復興建築助成株式会社創 立事務所書簡	会社設立趣意書、株式申 込証など	大正14年10月7日受取	1通
6	都市美協会書簡	例会報告	昭和2年1月20日	1通
7	都市美協会書簡		昭和5年12月16日	1通
8	伊澤多喜男書簡(東京震 災記念事業協会会長)		大正15年10月21日	1通
9	後藤新平書簡(帝都復興 倶楽部会長)		大正14年2月16日	1通

10	中村是公書簡(東京震災記念事業協会会長)	山岸利三郎名刺付属、同協会設立趣意書同封	大正14年7月18日消印	1通
11	東京震災記念事業協会書簡	同協会設立趣意書など	大正13年10月10日受取	1通
b 書類・メモなど				
1	復興会第一回			1通
2	都市美協会(市政調査会内)	都市美協会第4回総会報告、会員名簿(昭和3年1月)		1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(6) 日米関係 a				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	今村忠助書簡	書状なし、“Associação Internacional de Intercambio Intellectual do Japao”(1929年2月10日)同封	1926年11月30日消印	1通
2	今村忠助書簡	「広告(サンパウロ日本人会)」(切抜、掲載紙・掲載日不明)同封	1930年8月26日	1通
3	シャンド書簡・シュルマン書簡・清水精三郎書簡・阪谷芳郎のシュルマン宛書簡写	シャンド…3通(①1921年10月17日・芳郎返書写し(1921年11月21日)同封、②1922年1月21日、③1924年12月13日・芳郎返書写し(1925年1月25日)同封)、 シュルマン…1通(1921年9月14日)、清水精三郎…1通(大正11年1月)、阪谷のシュルマン宛書簡写(1921年)		6通
4	日本移民協会書簡	作成年表記なし	大正10年7月	1通
5	モット書簡	電報、斎藤惣一宛(日本基督教青年会同盟本部主事)	大正13年2月11日	1通
6	ジ・インターナショナル・レコード	1924年4月30日号	1924年5月27日消印	1通
7	湯浅銀之助書簡(南加中央日本人会)		大正13年5月27日	1通
8	基督教婦人矯風会本部書簡	日米問題に関する決議文同封	1924年7月16日受取	1通
9	津荷輔書簡(国際基督教連絡会)		大正13年8月2日	1通
10	芝間ちか吉書簡(日米協会)		大正13年6月28日	1通
b 書類・メモなど				
1	ジャパンアドバタイザー	切抜	大正12年11月7日	1枚

2	アドバタイザー	切抜	1934年2月13日	1枚
3	アドバタイザー	切抜	9年1月□日	1枚
4	ジャパン・タイムズ	切抜	1937年11月30日	1枚
5	南加中央日本人会 米国 南加州農家ノ現状ト其救 済		大正13年5月	1綴

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(7) 日米関係 b				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	アキスリング書簡		1924年9月23日	1通
2	アキスリング書簡		1925年1月7日	1通
3	ギュリック書簡		1924年3月21日	1通
4	ギュリック書簡		1924年7月3日	1通
5	ギュリック書簡	木川正男(大日本平和協 会国際奉仕機関)名刺同 封	1924年11月17日	1通
6	ギュリック書簡	芳郎返書写(1925年2月 17日)、The Federated churches for a warless worldのプログラム同封	1925年1月1日	1通
7	ギュリック書簡	"World Alliance for International Friendship Through The Churches Vol.11, No.4"(1924年4 月19日)のみ	1924年4月22日消印	1通
8	ギルダール書簡	ニューヨークタイムズ切 抜(1924年7月13日)同 封	1924年7月19日	1通
9	ギルダール書簡	ニューヨークタイムズ切 抜3枚(1924年12月22 日)、芳郎返書写し(1925 年1月19日)同封	1924年12月22日	1通
10	クラーク書簡(国際平和 カーネギー基金)		1924年7月16日	1通
11	ソンプソン書簡	Twelfth National Foreign Trade Conventionの案内など 同封	1925年5月16日	1通

12	フランクリン書簡	“BARON YOSHIRO SAKATANI” (M.Yokoyama、1908年)、新聞切抜(誌名不明、1924年)、芳郎返書写(1925年1月16日)同封	1924年11月19日	1通
13	ボールス書簡		1923年12月5日	1通
14	ボールス書簡		1924年5月1日	1通
15	ボールス書簡		1924年7月3日	1通
16	ホルド書簡	“HONOLULU STAR-BULLETIN FLEET EDITION”切抜3枚(掲載日不明)、芳郎宛国際連盟協会書簡1通(大正14年5月28日)同封	1925年4月30日	1通
17	大橋忠一書簡(在シアトル領事)		大正13年6月24日	1通
18	川上勇書簡		1924年1月10日	1通
19	山下弥七郎書簡		大正14年6月4日	1通
20	ザ・フレンド書簡	“THE FRIEND”(Vol.97, No.49、1924年6月5日)1冊	1924年6月7日消印	1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(8) 明治神宮関係 a				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	明治神宮体育会書簡(幹事:江見・三橋)		昭和4年9月24日消印	1通
2	明治神宮体育会書簡		昭和5年	1通
3	明治神宮奉賛会書簡	昭和11年度決算、昭和12年度予算関係書類	昭和12年4月10日消印	1通
4	日本游泳連盟書簡		昭和8年10月6日消印	1通
5	平沼亮三書簡		昭和5年2月13日	1通
6	平沼亮三書簡		昭和5年2月23日	1通
7	平沼亮三書簡		昭和5年4月25日	1通
8	二荒芳徳書簡		昭和8年7月17日	1通
9	堀切善次郎書簡(東京市長)		昭和5年4月2日	1通
10	堀切善次郎書簡(東京市長)		昭和5年3月2日	1通

11	榎忠一郎書簡(明治神宮奉賛会)		昭和11年10月12日	1通
12	三上参次書簡		昭和5年9月23日	1通
13	水野鍊太郎書簡		昭和3年2月29日	1通
14	山邊知春書簡(秩父宮附別当)		昭和4年年9月25日	1通
b 書類・メモなど				
1	明治神宮体育会日記		昭和2年10月～	1通
2	明治神宮体育会規約		昭和2年	1冊
3	明治神宮体育会役員一覧・官報665号(昭和4年3月30日)・村上邦夫名刺			1通
4	明治神宮奉賛会寄付行為改正案		昭和5年	2綴
5	第四回明治神宮体育大会次第	名刺(恵美唯義、三橋正、宇佐川知義、芦田公平)同封		1通
6	明治神宮体育大会役員一覧・第四回体育大会予算各部別一覧表			1綴
7	第五回明治神宮体育会収支概算表案	附、名刺(岩原拓)	昭和4年	1綴
8	明治神宮体育会 昭和七年度決算報告		昭和8年	1綴
9	明治神宮体育会役員一覧表		昭和8年	1綴
10	第七回明治神宮体育大会予算案		昭和8年	1綴
11	第七回明治神宮体育大会一覧		昭和8年	2枚
12	第八回明治神宮体育大会予算案	附、栗本義彦名刺	昭和10年	1通
13	明治神宮奉賛会資料	水上浩躬書簡1通(昭和5年2月14日)、明治神宮奉賛会寄附行為改正ノ儀1綴(昭和5年)、明治神宮寄附行為1冊(大正13年12月10日)		1通
14	奉賛会改革案		昭和3年	1通
15	昭和四年度明治神宮奉賛会歳入歳出決算書		昭和5年	1冊
16	昭和五年度明治神宮奉賛会歳入歳出予算書		昭和5年	1冊
17	綜合運動競技団体寄付行為草案			2冊

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(9) 明治神宮関係 b				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	明治神宮外苑管理署書簡	明治神宮外苑管理評議員 会資料	昭和7年3月1日	1通
2	明治神宮奉賛会	絵画館壁画依頼書案	昭和8年1月27日	1通
3	有馬良橋書簡(明治神宮 宮司)	明治神宮外苑管理評議員 会資料	昭和11年2月25日	1通
4	上村正信書簡(帝国文化 協会専務理事)	附、阪谷芳郎メモ	昭和4年1月	1通
5	佐野利為書簡		□2年12月9日	1通
6	梨羽時介書簡(明光会事 務所)		昭和8年3月	1通
7	平塚広義(東京府知事)・西久保弘道(東京市長)・ 藤田謙一(東京商業会議所会頭)書簡		昭和2年10月14日	1通
8	槇忠一郎(明治神宮奉賛 会)		昭和12年2月5日	1通
9	水上浩躬書簡(明治神宮 奉賛会)		昭和7年1月19日消印	1通
b 書類・メモなど				
1	明治神宮奉賛会宛田阪美優(明治神宮外苑管理署技 師)書簡		□9年9月3日	1通
2	外苑馬術競技場ノ件	外苑馬術競技の請願書(昭和5年8月4日松平頼壽 持参)、名刺(松平頼壽、三浦実生、大島又彦)、日 記(昭和5年8月4日~9月11日)		1通
3	神宮外苑ノ維持ニ就テ		昭和3年1月	1綴
4	明治神宮外苑経過概要		昭和4年7月24日	1綴
5	外苑運動場調査会	明治神宮外苑体躯設備臨 時調査会規程及び名簿、 石田香(神社局長)宛阪 谷芳郎書簡下書き	昭和6年10月	1通
6	神宮外苑造営史編纂委員 会資料一括	明治神宮外苑造園史編纂 委員会書類、明治神宮外 苑造営史目次案	昭和9年11月26日	2綴
7	明治神宮裏参道乗馬道工 事概要	裏参道青写真1綴、次第 (閑院総裁宮殿下御成)1 綴、明治神宮奉賛会の 閑院宮殿下御成招待状見 本、近新三郎名刺(東京 市土木局)	昭和3年10月	1通

8	聖徳記念絵画館壁画		昭和2年8月1日	1枚
9	昭和三年六月ニ於ケル未 完成画家現状報告	附壁画完成表(昭和3年 4月26日)	昭和3年6月	1綴、 1枚
10	明治神宮外苑絵画館絵画 解説の英語訳依頼状案		昭和8年5月31日	1枚
11	武道館(剣・柔・弓)ノ 件	封筒にメモ書きのみ、封 筒内には塩谷温と多羅尾 光道の名刺のみ	昭和2年11月26日	1通
12	役員慰労金調	明治神宮奉賛会の役員慰 労金調	昭和2年11月	1綴
13	参拝者並ニ拝観者月計表 (大正15年～昭和3年)		不明	1枚
14	昭和三年度明治神宮奉賛 会歳入歳出決算書		昭和4年	1冊
15	昭和四年度歳入歳出予算 書(明治神宮奉賛会)		昭和4年	1冊
16	第十七回事業経過報告	明治神宮奉賛会の事業経 過報告	昭和4年	1枚
17	水泳場の件		昭和5年3月	2枚
18	明治神宮奉賛会理事会(昭和5年4月8日)資料一括		昭和5年4月1日	2枚
19	野球場工事委員会決議報 告書		昭和6年3月	1通
20	明治神宮参拝人員年別統計表(大正9年11月～昭 和6年9月)		昭和6年	1枚
21	日本(昭和2年6月11日)	新聞切抜、記事「外苑絵 画館前に明治百傑の像」	昭和2年6月11日	1枚
22	日記 昭和4年4月9日 ～昭和6年2月23日			1通
23	日記 昭和5年9月12 日			1通
24	日記 昭和5年11月8 日～11月23日			1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(10) シャム博覧会の件				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	市来乙彦書簡	市来乙彦名刺同封	10月28日	1通
2	宇佐美勝男書簡(山縣公 爵伝記編纂会)	消印は昭和3年6月7日	昭和3年4月	1通
3	尾形正弥書簡(大日本明 道会)	勤皇文庫の件	昭和5年9月29日	1通

4	済美会書簡		大正 14 年 4 月 9 日	1 通
5	韓相龍書簡		昭和 5 年 11 月 18 日	1 通
6	桜井玲吉書簡 (訪問修養会)		大正 14 年 4 月 8 日	1 通
7	田辺定義書簡 (東京市政調査会)		昭和 5 年 8 月 25 日	1 通
8	沈英澤書簡		昭和 5 年 8 月 21 日	1 通
9	萩野友楠書簡 (大日本洗心義会)		昭和 5 年 9 月 29 日	1 通
10	深野英二書簡 (カーネギー万国平和財団日本経済調査会)		昭和 5 年 10 月 14 日	1 通
11	堀内文次郎書簡		大正 11 年 3 月 6 日	1 通
12	森田敬太郎書簡		大正 6 年 1 月 9 日	1 通
13	山下弥七郎書簡		昭和 4 年 11 月 16 日	1 通

b 書類・メモなど

1	石黒熙	憂国団團則 (大正 13 年 1 月 26 日)、阪谷芳郎宛憂国団仮本部の大正 14 年年賀状		1 通
2	モールス博士記念ノ為大森貝塚保存ノ件	佐々木忠次郎名刺 1 枚のみ、名刺にメモ書き	昭和 2 年 2 月 3 日	1 通
3	協議事項	大日本社会教育会の書類	不明	1 枚
4	済美会 小貫、妹尾	名刺 4 枚のみ (小貫頼爾 1 枚、妹尾退蔵 3 枚)	大正 14 年 4 月 1 日	1 通
5	済美会会則原案一括	会則原案 1 綴、会則原案の説明 1 綴	不明	2 綴
6	済美会規則	済美会設立趣意書 1 枚	大正 14 年 6 月 14 日	1 通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
----	------	----	-------	----

(11) 桜薔会関係

a 阪谷芳郎宛書簡

1	多胡敬三郎書簡 (造幣局)		大正 10 年 4 月 13 日	1 通
2	田原春次書簡 (東京朝日新聞横浜通信局)		昭和 3 年 4 月 28 日	1 通
3	道祖土剛書簡 (太平生命保険株式会社)		昭和 4 年 6 月 13 日	1 通
4	宮本商行書簡	東京学生連盟総裁の阪谷芳郎へ請求書・領収書	昭和 4 年 10 月 1 日	1 通
5	渡辺得男書簡 (渋沢事務所)		昭和 2 年 8 月 16 日	1 通
6	渡貫尚書簡		昭和 3 年 5 月 3 日	1 通

7	渡貫尚書簡	封筒には7月8日、手紙には7月7日の日付	昭和3年7月8日	1通
8	渡貫尚書簡		昭和4年6月12日	1通
9	渡貫尚書簡		昭和5年5月20日	1通
b 書類・メモなど				
1	桜薔会ノ件	名簿1枚、メモ1枚、名刺5枚(道祖土剛、大島豊、松田茂、松村金助、渡貫尚)		1通
2	桜薔会領収書	受領書2枚(昭和5年5月15日、昭和5年11月27日)、道祖土剛名刺3枚		1通
3	グロスター公学生歓迎会	証(昭和4年4月24日)、受領書(昭和4年4月24日)、内訳明細書(昭和4年5月20日)		1通
4	田原春次電信為替	記(近藤艶子墓前御供、昭和2年9月15日)1枚、記(原田春次へ送金、昭和2年8月16日)1綴		1通
5	三笠保存会定期証書	川田小三郎書簡(海軍省経理部、□8年9月15日)同封		1通
6	日記 大正11年4月18日 ～昭和5年11月27日			1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(12) 菊作御太刀関係				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	坂田良弘書簡		昭和3年8月18日	1通
2	坂田良弘書簡		昭和3年8月28日	1通
3	坂田良弘書簡		昭和3年8月30日	1通
4	坂田良弘書簡		昭和3年9月1日	1通
5	坂田良弘書簡		昭和3年10月15日	1通
6	坂田良弘書簡		昭和3年11月7日	1通
7	坂田良弘書簡		昭和4年8月22日	1通
8	坂田良弘書簡		昭和5年8月1日	1通
b 書類・メモなど				
1	後鳥羽帝菊作御太刀の件		不明	1枚

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(13) 東京市関係 a				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	安藤龍隆書簡		明治45年7月13日	1通
2	岩本栄之助書簡		明治45年6月29日	1通
3	大橋重省書簡		明治45年7月4日	1通
4	田中太郎書簡		明治45年6月11日	1通
5	松永誠太郎書簡		明治45年6月29日	1通

6	矢野由次郎書簡	芳郎直筆メモ同封(「六月二十四日面会」)	明治45年5月17日	1通
7	矢野由次郎書簡		明治45年7月10日	1通
b 書類・メモなど				
1	市長問題	新聞切抜(東京日日新聞明治45年6月8日付1枚、他2枚)、日記(明治45年6月8日~29日)、名刺8枚(安藤兼吉、犬丸鉄太郎など)		1通
2	新聞切抜 明治四十五年七月十二日東京市長就任ニ付テ意見各種			1通
3	市長問題ニ関スル用状		明治45年6月	1枚

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(14) 東京市関係 b				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	浅野総一郎書簡(東京湾埋立株式会社社長)		昭和14年3月	1通
2	伊東祐忠書簡		大正11年12月6日	1通
3	今井田清徳書簡(通信省)		昭和5年10月23日	1通
4	斎藤謙蔵書簡	名刺2枚(斎藤謙蔵、藤田剣吾)同封	昭和5年10月13日	1通
5	角南角三郎書簡		昭和5年8月28日	1通
6	角南角三郎書簡	角南角三郎書簡の封筒のみ1枚(昭和5年6月29日消印)、河野光次名刺2枚同封	昭和5年10月5日	1通
7	高田栄馬書簡(日本労働総連盟、冲電気争議団)	名刺4枚(大野鐘太郎1枚、佐藤千代太郎2枚、高田栄馬1枚)同封	昭和4年7月17日	1通
8	永田秀次郎書簡		昭和8年1月6日	1通
9	永田秀次郎書簡		昭和8年1月7日	1通
10	畑弥右衛門・河野光次書簡	日本観光株式会社設立趣意書及目論見書1綴、畑弥右衛門名刺1枚	昭和5年	1通
11	藤田剣吾書簡		昭和8年1月17日	1通
12	本多日生書簡(京都絵本山妙満寺)	顕本法華宗妙満寺霊宝目録1枚同封	大正4年11月8日	1通
13	残桜会	残桜会葉書(大正10年9月)、残桜会趣意書、一谷弘治名刺、日記など同封	大正13年9月27日	1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(15) 阪谷芳郎直筆原稿				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	今泉定助・馬場愿治書簡 (故川面凡児先生十周年記念会)	故川面凡児先生十周年記念会趣旨1冊、故川面凡児先生十周年記念祭概要1枚、払込票1枚同封	昭和13年12月20日	1通
2	奥村寅次郎・奥村猛書簡	奥村寅次郎・奥村猛宛阪谷芳郎書簡(下書か、大正14年11月24日)同封	大正14年11月27日	1通
3	加茂百樹書簡(大日本頌徳会設立委員代表)		昭和13年11月	1通
4	萱場軍蔵書簡(岡山県知事)	リーフレット「銃後の岡山」原稿依頼	昭和13年9月17日	1通
5	神林周道書簡(日華仏教研究会)	日華仏教研究会縁起序及簡章大綱1綴、日華仏教研究会第三回訪華使節日程表1折	昭和14年4月15日	1通
6	神林周道書簡(日華仏教研究会)	阪谷希一紹介依頼状	昭和14年4月15日	1通
7	重徳来助書簡	阪谷芳郎名刺同封	昭和12年8月23日消印	1通
8	前田多門書簡	ハーパース・マガジン(178巻、1939年2月)同封	昭和14年2月9日	1通
9	湯川末吉書簡	北京実業学校設立の件	昭和13年2月9日	1通
10	フレーザー書簡		昭和14年3月22日	1通
11	国家経済研究所書簡	趣意書1枚同封	昭和9年10月15日受付	1通
12	通貨制度研究会書簡	経済新聞社葉書1枚、阪谷芳郎直筆原稿1綴同封	昭和8年6月7日消印	1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(16) 安井誠一郎書簡他				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	安部朝五郎書簡		昭和5年12月31日消印	1通
2	安部勉書簡	年不明	昭和5年12月4日	1通
3	尾形正弥書簡(大日本明道会)		昭和6年1月5日	1通
4	栗林元二郎書簡(八紘学園)		昭和5年12月9日	1通

5	近藤壤太郎書簡	岡山県学務部長拝命報告状。年不明	昭和6年3月2日	1通
6	桜田助作書簡		昭和6年1月30日	1通
7	佐々木勇之助書簡		明治44年2月13日	1通
8	斯波淳六郎・尾形正弥書簡(大日本明道会)		昭和5年11月7日	1通
9	渋沢栄一書簡(エヂソン翁第七十五回誕辰祝賀会事務所)		大正11年1月31日	1通
10	白崎吉蔵書簡		2月17日	1通
11	杉浦正□書簡(明治奉賛会)		2月20日	1通
12	田中松次書簡	年不明	昭和6年1月10日	1通
13	永山為三郎書簡		昭和6年1月11日	1通
14	橋本鉄吉書簡	年不明	昭和6年2月27日	1通
15	安井誠一郎書簡	年不明	昭和6年1月19日	1通
16	山下政吉書簡		12月14日	1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(17) 法制経済読本其他				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	秋元春朝書簡(日本博覧会協会会長)	日本博覧会協会名誉顧問推薦の件。規約1冊、国防大博覧会収支計算書1綴同封	昭和13年12月28日	1通
2	糸川潤書簡(国際思想研究会)	国際思想研究会設立趣意書1枚、国際思想研究会会計規則1枚同封	昭和8年10月23日	1通
3	稲葉豊生書簡(神祇官衙復興請願本部長)		大正4年4月30日	1通
4	太田正孝書簡(報知新聞社代表)	北極探検家アムンゼンの講演の支援への感謝状	昭和2年7月16日	1通
5	梶原仲治書簡(日本産業協会会長)	阪谷芳郎発案の建議書1綴同封	昭和5年8月4日	1通
6	後藤藤人書簡(興国奉詔会理事)	作成年月日不明、封筒のメモ書きから推測	大正14年5月	1通
7	佐藤悟郎書簡(醸造試験所)		大正13年7月7日	1通

8	頭山満・箕浦勝人書簡(故田中正造翁遺蹟保存会創設事務所)	故田中正造翁遺蹟保存会 仮規約及仮会員1枚同封	大正13年11月	1通
9	搭本伊三郎書簡(敬愛会)		大正14年2月10日	1通
10	日本産業協会書簡	「進歩の一世紀博覧会」 の件	昭和7年7月2日	1通
11	星野錫書簡(東京信用組合組合長)	顧問推薦の件。星野錫名 刺1枚同封	大正9年5月17日	1通
12	星野錫書簡(東京信用組合組合長)		大正9年8月6日	1通
13	松尾諒平書簡	皇紀二千六百年奉祝に関し 十箇年計画一覽表一括同封		1通
14	森村二郎書簡(森村竹軒)	大正14年の気運(占い) の件。森村二郎名刺1枚 同封	大正14年	1通
15	安田善三郎書簡	作成年なし、消印より推 測	昭和4年11月7日	1通
16	山内茂義書簡		大正13年7月13日	1通
17	梁士治書簡		大正13年1月1日	1通
18	□多□保二書簡		大正15年10月□日	1通

b 書類・メモなど

1	押田三郎満洲出張関係の 件(沖電)	押田三郎紹介状写1綴(昭和9年1月25日。遠藤柳作、 小磯国昭、阪谷希一宛各1通送付)、紹介状案1綴		1通
2	法制経済読本	阪谷芳郎直筆メモ1枚、阪谷芳郎宛守屋荒美雄書簡 (大正5年2月14日付封筒に大正5年2月14日付書簡、 大正5年3月2日付書簡同封)、守屋荒美雄名刺1枚		1通
3	宣言之	国威宣揚祭の宣言書	大正13年6月30日	1通
4	阪谷希一・俊作宛榎忠一 郎書簡	榎忠一郎宛岡崎幹愛書簡 (昭和16年11月16日)、 岡崎熊治翁頌徳碑誌1冊 同封	昭和16年11月18日	1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(18) 社会事業助成会其他				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	浅野良三書簡		□年7月31日	1通
2	石渡敏一・大迫元繁書簡 (社会事業助成会)	顧問推薦の件	昭和9年4月14日	1通
3	石渡敏一・大迫元繁書簡 (社会事業助成会)	社会事業助成会の趣旨・ 社会事業助成会会則1枚 同封	昭和9年4月24日	1通

4	牛塚虎太郎(東京府知事)・永田秀次郎(東京市長)・郷誠之助(東京商工会議所会頭)書簡(明治神宮祭奉祝会)		昭和5年12月25日	1通
5	韓相龍書簡	消印より推測	昭和5年12月22日	1通
6	渋沢栄一書簡(銀行倶楽部委員長)		大正6年6月14日	1通
7	成元慶書簡	消印より推測	昭和5年12月8日	1通
8	仙石良平書簡		昭和5年12月17日	1通
9	田辺頼真書簡(斯道会)	斯道会関係資料一括同封	明治45年7月12日	1通
10	深野英二書簡		昭和5年12月27日	1通
11	馬越恭平書簡	宇垣一成快気祝い招待状	昭和5年12月1日	1通
12	丸山伝太郎書簡(日本阿片害毒防止会)	防止会への援助依頼	昭和5年12月28日	1通
13	宮原六郎書簡	清明会関係資料一括、名刺(宮原六郎1枚、服部宇之吉1枚)同封	大正10年5月2日	1通
14	山口六良次書簡(国際文化協会)	雑誌『国際日本』の原稿感謝状	昭和6年1月6日	1通
15	山崎覚次郎書簡		昭和5年12月3日	1通
16	李龍守書簡	作成年不明	8月8日消印	1通
17	渡辺忠三郎書簡	渡辺忠三郎名刺1枚同封	明治40年12月23日	1通
18	□村和人書簡		昭和4年6月15日	1通
b 書類・メモなど				
1	大坂天王寺公会堂軍備縮少講演会	メモ	大正10年11月11日	1通
2	市民館社会事業助成会	社会事業助成会の趣旨・社会事業助成会会則1枚、日記(昭和9年2月23日~5月1日)		1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(19) 井上円了書状其他				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	赤間□吉書簡	長濱俊秀名刺1枚同封。消印より推測	大正3年3月10日	1通
2	赤間□吉書簡	消印より推測	大正3年3月17日	1通
3	井上円了書簡	南米出發の件	明治44年8月17日	1通
4	井上敬次郎書簡	消印より推測	大正5年1月25日	1通
5	北原種忠書簡	消印より推測	大正9年1月18日	1通
6	瀬戸乙次郎書簡	一時賜金癡兵ニ対シ恩給法一部改正ニ関スル請願書同封	昭和6年1月24日	1通

7	中條精一郎書簡(曾祢中條建築事務所)		昭和6年1月26日	1通
8	長濱俊英書簡	消印より推測	大正3年4月1日	1通
9	新見□□書簡	お茶の水活動写真展覧会の件	大正10年11月28日	1通
10	松田広書簡(第一銀行)		□□年1月27日	1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(20) 東京港振興会其他				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	大迫元繁書簡(東京港開港期成委員会)	第二回東京港開港期成委員会開催の件	昭和14年10月4日	1通
2	大迫元繁書簡(東京港振興会)	第一回荷役能力調査委員会の件。東京港開港期成委員会委員名簿1枚、荷役能力調査委員会委員名簿1枚同封	昭和14年10月26日	1通
3	橘樹水道株式会社書簡	橘樹水道株式会社目論見書1綴同封	昭和2年6月16日	1通
4	矢野晋也書簡		大正13年8月24日	1通
5	矢野晋也書簡		大正13年9月4日	1通
6	渡辺了武書簡		大正9年7月11日	1通
7	渡辺了武書簡(東京湾埋立株式会社)		大正10年6月25日	1通
b 書類・メモなど				
1	橘樹水道布設出願免許委任状		大正10年6月19日	1通
2	橘樹水道株式会社株式名義証書等			1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(21) 日本国際宣伝協会其他				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	金子□□治書簡	スタンレー・フィッシュバーン『乃木』推薦状同封。	大正10年6月30日	1通
2	清岡長吉・有馬頼寧書簡(全国融和連盟)		大正14年2月9日	1通
3	後藤新平書簡		昭和3年3月1日	1通

4	田川大吉郎書簡	大正10年大坂天王寺公会堂軍備縮少講演会に関するメモ、猪股勲名刺1枚同封	□年9月29日	1通
5	東郷平八郎・徳川家達書簡（大久保利通公五十年記念会発起事務所）		昭和3年12月10日	1通
6	蜂須賀正昭・小沢武雄・土岐嘉平書簡（北海道協会）	北海道協会入会申込書1枚、北海道協会定款1枚同封	大正14年3月9日	1通
7	舞踏撲滅期成会書簡		大正14年10月14日	1通
8	横浜正金銀行書簡	封筒に明治44年10月23日付大久保利賢書簡、明治44年10月24日付松居考士書簡、明治44年10月25日付横浜正金銀行書簡		1通
9	外国人書簡		1911年8月25日	1通
b 書類・メモなど				
1	都市美協会委員会案	附『大東京全史』メモ		2枚
2	日本国際宣伝協会	日本国際宣伝協会昭和四年度事業計画1枚、同会趣意書1枚、同会定款1枚、名刺（今村忠助、雨宮要平、木村崇山、吉永哲丈各1枚）4枚同封。		1通
3	廃兵救済会ノ件	財団法人廃兵救済会寄附行為1綴		1通
4	保存名刺 四十四年七、八、九月洋行	名刺7枚		1通
5	萬朝報社事業合理化研究会ノ件	2月10日付岡田良平書簡1通、現代事業研究会趣意書1枚、名刺（岡田良平、小平久男、富田知明各1枚）3枚	昭和4年2月10日	1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(22) 経済調査会建議書 芳郎自筆未定稿				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	井上準之助書簡（横浜正金銀行）	中国幣制改革刷物2綴	大正8年1月16日	1通
2	阪井徳太郎書簡（三井合名会社）	時局ニ処スル経済調査会議設置ノ議5綴、未定稿1綴同封。年不明	□年3月8日	1通
3	南波善之助書簡	『世界文化の革新第二巻 財政金融変』改定の目次1綴、旧稿目次1綴	大正9年12月6日	1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(23) 海事銀行関係其他				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	井出堤書簡		明治 43 年 5 月 11 日	1 通
2	岡本実太郎書簡	消印より推測	大正 10 年 10 月 18 日	1 通
3	佐藤法潤書簡	作成年不明、消印より推測。海事銀行ニ就イテ 1 綴同封。	大正 6 年 1 月 30 日	1 通
4	佐藤法潤書簡	消印より推測	大正 6 年 2 月 19 日	1 通
5	佐藤法潤書簡	消印より推測	大正 6 年 5 月 21 日	1 通
6	瀬川義人書簡(生存同盟)	小冊子『生存同盟』(大正 14 年 1 月 1 日発行)	大正 14 年 1 月 3 日消印	1 通
7	田所美治書簡	消印より推測	大正 5 年 6 月 23 日	1 通
8	中央社会事業協会書簡	地方改善事業叢書チラシ 1 枚、地方改善ニ関スル内務大臣ノ訓令 1 枚同封	大正 13 年 12 月 28 日	1 通
9	中日実業株式会社書簡	周金箴夫人訃報	大正 10 年 8 月 27 日	1 通
10	東亜同文会書簡	東亜同文会寄附行為 1 冊同封	大正 11 年 3 月	1 通
11	南波善之助書簡		大正 9 年 12 月 5 日	1 通
12	山下政吉書簡(興讓館)		□年 11 月 5 日	1 通
13	山成喬六書簡	作成年不明、消印より推測。名刺(佐藤法潤 2 枚、箕浦勝人 1 枚)同封	大正 6 年 5 月 23 日	1 通
14	和田藤太郎書簡	和田藤太郎履歴書同封	大正 5 年 1 月 22 日	1 通
b 書類・メモなど				
1	『医事公論』第 1073 号「石黒子爵賀寿一百六十韵」		昭和 8 年 2 月 11 日	1 枚
2	小野雄志京釜入社一件、横田誠一郎保証	中村嘉策書簡(明治 37 年 9 月 24 日、横田の件) 1 通、小野隆次郎書簡(明治 35 年 12 月 10 日) 1 通		1 通
3	船舶銀行ノ件	封筒の表にメモ書きのみ		1 通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(24) 第一次世界大戦巴里平和会議出席の件其他				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	石井健吾書簡(第一銀行)	消印より推測	昭和 5 年 7 月 30 日	1 通
2	石本恵吉書簡		昭和 5 年 12 月 24 日	1 通
3	犬飼寿太郎書簡	消印より推測	昭和 5 年 12 月 20 日	1 通
4	上村荷輔書簡	消印より推測	昭和 6 年 10 月 2 日	1 通

5	草野馨書簡	消印より推測	大正1年9月30日	1通
6	河野光次はがき		不明	1通
7	白井遠平書簡	書状2通、証1枚	大正元年9月30日	1通
8	高碓達之助書簡(東洋製 罐株式会社)		昭和5年11月12日	1通
9	田口義三郎書簡(高田商 会)		大正11年2月2日	1通
10	早川千吉郎書簡		昭和6年2月19日	1通
11	星島次郎書簡(国際日本 協会)		昭和4年2月13日	1通
12	森平兵衛書簡		昭和6年2月17日	1通
13	吉田文三書簡	消印より推測	昭和6年10月16日	1通
14	吉田要作書簡	関税協定に関する書類1 綴同封	□年7月10日	1通
b 書類・メモなど				
1	徹山晃儒、漆原勉三、興銀問題、阪谷利勝ノ調、油 機関船初航海、中島省吾来状、賽銭泥坊ニ僧ノ注意、 伯林大使館忠僕(メモ一括)		不明	1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(25) リオン日本市場協会ノ件其他				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	徳川家達書簡(汎太平洋 協会会長)		大正11年12月24日	1通
2	ジョルダン書簡	和田藤太郎紹介依頼状。 名刺(和田藤太郎)2枚同 封	1916年4月22日	1通
3	H O U S E O F R E P R E S E N T A T I V E S U . S . 書簡	小冊子「STABILIZING THE PURCHASING POWER OF MONEY S P E E C H O F H O N . T . A L A N G O L D S B O R O U G H」 (1922年5月23日)	1922年6月28日消印	1通
4	ワールド・トレード・ク ラブ書簡	小冊子「KEEP THE WORLD WAR WON Meter-Liter-Gram in World Trade and World war」	1919年10月15日消印	1通

5	阪谷芳郎書簡・高峯讓吉書簡・Alcan Hirsch 書簡 1 綴		1917 年 - 1918 年	1 綴
b 書類・メモなど				
1	官報第 1366 号 大正 6 年 2 月 22 日		大正 6 年 2 月 22 日	1 枚
2	官報号外 大正 12 年 8 月 17 日		大正 12 年 8 月 17 日	1 冊
3	製鉄所払下	製鉄所払下ノ件	不明	1 通
4	大正五年八月十八日仏国 リオン市ニテ見本市場協 会名誉会長ニ推薦	見本市場協会から寄贈された書籍を東京商業会議所に送る件(東京商業会議所会頭・中野武宮宛書簡、大正 6 年 4 月 23 日付)		1 通
5	陸軍少将佐藤正武(正興坂男)大正 6 年 10 月 15 日 面会 華族制度改正ノ要□並□□学習院ノコト(封筒にメモ書きのみ)			1 通
6	連合国経済会議関係	一九一六年九月八日可採歳入増加其他ニ関スル法律ノ内 1 綴、送り状 1 枚		1 通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(26) 長尾半平書状其他				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	岡田柯一書簡	岡田八十郎帝大入学保証人の件	大正 1 年 9 月 6 日	1 通
2	岡田柯一書簡	岡田八十郎帝大入学保証人の件	大正 1 年 9 月 15 日	1 通
3	小野寺甕叟書簡	清衡将軍八百年祭のための原稿依頼。清衡将軍八百年祭次第 1 枚、清衡将軍八百年祭協賛会趣意書 1 枚、御玉稿用箋 1 枚、返信用封筒 1 枚同封。	大正 14 年 2 月 28 日	1 通
4	長尾半平書簡	市長の件。作成年不明。	昭和 3 年 1 月 5 日	1 通
5	水口薇陽書簡(文化映画製作所)	輝く日章旗	昭和 4 年 1 月 10 日	1 通
6	横田孝史書簡	横田孝史宛阪谷芳郎書簡案 1 枚、横田孝史名刺 1 枚同封。	大正 9 年 3 月 8 日	1 通
7	吉岡修軒書簡	三男繁造の件	明治 45 年 5 月 16 日	1 通
8	吉岡修軒書簡		明治 45 年 5 月 17 日	1 通

b 書類・メモなど			
1	合同の件 借入金の件	沖電気と日本電気の合同に関する提案書1綴、沖電気伊東祐忠常務取締役書簡(大正9年11月12日、日本興業銀行からの借入金の件)、鈴木紋次郎・小淵帙書簡(昭和□年1月17日)	1通
2	桑田克己第一高等学校入学保証ノ件	桑田静太郎書簡(明治43年9月11日)、桑田茂四郎書簡(8月17日、桑田克己書簡(8月14日)、占部六右エ門名刺同封)	1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(27) 興譲館創立七十年祝辞(芳郎直筆草稿)				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	渋沢家同族会編纂所書簡	伝記編纂の協力依頼。返信用はがき同封。	大正7年4月6日	1通
2	八十島親徳書簡(龍門会)	青淵先生六十年史編纂の件	明治33年2月26日	1通
3	八十島親徳書簡(渋沢事務所)	渋沢元治書簡(年不明1月11日、龍門社の碑文の件)同封	年不明1月14日	1通
4	八十島親徳書簡(渋沢事務所)	青淵先生伝記編纂会発会の件	大正6年1月31日	1通
5	山下政吉書簡	阪谷芳郎直筆原稿「興譲館創立七十年記念祝賀ニ付所感ヲ述フ」1綴同封	大正3年1月21日	1通
b 書類・メモなど				
1	青淵先生六十年史追加(先生七十才)	長谷井千代松書簡(明治43年4月8日消印の封筒内に書簡2通、はがき2通同封)		1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(28) 渋沢家家訓其他直筆覚書等				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	黒田英雄書簡(営繕管財局)	将門塚鎮魂祭の件。祭典次第1枚同封	昭和3年3月24日	1通
2	渋沢篤二書簡	竹島安太郎名刺1枚同封	明治42年10月29日	1通
3	関島周一書簡		昭和3年5月9日	1通
4	高野岩三郎書簡(大原社会問題研究所)		大正14年5月13日	1通
5	山下政吉書簡(朗廬翁遺跡保存事務所)	朗廬翁古跡保存費の受領書同封	大正2年10月13日	1通

b 書類・メモなど			
1	家訓、二宮尊徳翁論、岡山後樂園案内記など	歴史画帳ニ題シ二姪良之進險ニヲ訓戒ス、桃井新一命名辞、桜井虎吉清和堂ノ記	1 通
2	渋沢男爵閣下御講演筆記		1 綴
3	第八回世界日曜学校大会後援会		大正 10 年 10 月 5 日 1 枚
4	大正七年三月余支那政府招聘	書画帳の件、芳郎の書簡の草稿か	大正 10 年 11 月 1 枚
5	大正十三年四月五日	1918 年 4 月 3 日のボーベイ会議のメモ	1 枚
6	華族会館震災同情会 横浜行	写真	大正 12 年 11 月 6 日 1 通
7	箕麓餘命之旨趣		1 枚

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(29) 今関寿磨書状(鄭孝胥に送る誌の添削依頼に関する件) 其ノ他				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	今関寿磨書簡	漢詩の添削の件	昭和 7 年 10 月 22 日消印	1 通
2	公森太郎書簡		昭和 7 年 12 月 21 日	1 通
3	渋沢栄一書簡(第一銀行頭取)	芳郎自筆案文同封	明治 41 年 3 月 17 日	1 通
4	高橋新吉書簡(日本勧業銀行総裁)		明治 40 年 8 月 2 日	1 通
5	西山哲治書簡(帝国尋常小学校・幼稚園校長)	西山はがき 1 枚(大正 8 年 7 月 31 日)、西山宛返信文案 1 枚同封	大正 8 年 7 月 25 日	1 通
6	徳川慶久書簡		大正 6 年 11 月 19 日	1 通
7	萩野由之書簡		大正 6 年 5 月 26 日	1 通
8	船越		昭和 7 年 8 月 7 日	1 通
9	船越		昭和 7 年 12 月 22 日	1 通
10	船越		昭和 8 年 2 月 27 日	1 通
11	星野桂吾書簡(満蒙協会)	漢詩の添削 1 枚、山田準書簡(年不明 2 月 19 日)、星野桂吾宛芳郎書簡(2 月 5 日)、山田準宛芳郎書簡(8 年 3 月 18 日) 同封	昭和 8 年 3 月 16 日	1 通
12	八十島親徳書簡(渋沢事務所)	年不明、消印より推測	大正 4 年 11 月 4 日	1 通
13	山田準書簡		昭和 7 年 8 月 22 日	1 通
14	山田準書簡		昭和 8 年 5 月 2 日	1 通

15	山田準書簡		昭和8年6月24日	1通
16	山成遠太郎書簡		昭和3年5月18日	1通
17	山成遠太郎書簡		昭和3年5月19日	1通
18	山成遠太郎書簡		昭和5年3月1日	1通
19	横山雅男書簡	消印より推測	昭和7年12月23日	1通
20	渡部求書簡	『忠経講義』発刊の件。 芳郎自筆書簡案同封	大正10年11月18日	1通
b 書類・メモなど				
1	星野桂吾宛今関寿磨書簡	消印より推測	昭和7年12月24日消印	1通
2	名刺(浦木毅、帝国劇場株式会社)			1枚
3	大坂大観 中国考中国号二題ス		大正7年9月10日送付	1枚
4	慶応義塾講義一件	坂田実書簡(明治28年10月14日、名刺(慶応義塾塾長・小幡篤次郎、武田勇二郎)同封)		1通
5	此一心序		大正10年12月	1枚
6	総会			1枚
7	題阪田警軒翁画像		大正6年初秋	2枚
8	常山城跡考序		大正10年9月	1枚
9	広島缶詰業沿革史		大正12年4月	1枚
10	養蚕之葉序			1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(30) 国民精神関係井上哲次郎其他書状				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	井上哲次郎・中島力造・服部宇之吉書簡	「時局と今後の国民の精神教育との関係」懇談会(第1回)開催の件。「時局と今後の国民の精神教育との関係」懇談会案内(第2~4回)はがき各1(計3)枚、二月十一日会合講演略記1部、大正四年七月十四日第四回委員会出席者1枚、名刺(井上哲次郎・服部宇之吉・吉田熊次)各1枚同封	大正4年2月3日	1通
2	久我篤立書簡	グラント将軍上奏文の件。	大正9年1月3日	1通

3	国民訓編纂査定会書簡	国民訓編纂査定会規定1枚、長谷井千代松書簡(年不明9月10日)1枚、加藤勝治書簡(大正9年2月11日)1部	大正4年9月18日消印	1通
4	国民訓編纂査定会書簡		大正4年10月8日	1通
5	小林氏尚書簡	伊勢国田丸町孔子廟の件	大正5年4月8日	1通
6	後藤武夫書簡(日本魂社社長)	家長選挙制度の実施の件。返信用封筒1枚、家長選挙制度実施に関する卑見1枚、後藤武夫はがき(大正8年11月)1枚同封	大正8年10月	1通
7	後藤武夫書簡(日本魂社社長)	雑誌『日本魂』の件。日本魂社規則1枚、家長選挙制度実施に関する檄1枚同封	大正9年7月	1通
8	萩野末吉書簡	消印より推測。	大正10年7月13日	1通
9	本多浄巖書簡	興勝会の件。芳郎返書案同封	大正7年4月12日	1通
10	目賀田種太郎書簡		年不明7月16日	1通
11	山下種太郎書簡	消印より推測。 "MORE VOTES FOR AMERICA"1部同封	大正10年5月16日	1通
12	若森久高書簡		大正4年12月4日	1通
b 書類・メモなど				
1	寄贈書目録	寄贈を受けた印刷物1綴		1通
2	六十年史一卷六十二頁ヨリ六十七頁ニ渉ル若森事件	九原王郎名刺1枚、若森久高宛阪谷芳郎書簡控(大正4年10月27日)1枚、白石喜太郎書簡1通(封筒内に白石喜太郎書簡(大正4年10月27日,消印より推測)1枚、八十島親徳宛阪谷芳郎書簡控(□4年12月10日)1枚、封筒ニツイテ1枚、九原王郎名刺1枚)		1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
(31) 徳大寺侍従長より御下賜品に関する件				
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	徳大寺実則書簡(侍従長)	御下賜品に関する件	明治39年12月23日	1通
2	徳大寺実則書簡(侍従長)	御下賜品に関する件	明治40年12月24日	1通
3	徳大寺実則書簡(侍従長)	御下賜品に関する件	明治39又40年6月23日	1通
4	戸田氏共書簡(式部長)	勲一等に関する件	明治40年1月25日	1通

5	渋沢栄一書簡	封筒のみ。	年不明 4月10日	1通
---	--------	-------	-----------	----

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	小西正之助書簡(三島農場)		昭和9年4月6日	
2	三島通陽書簡	昭和八年度下半年収支決算書1綴、増減理由書1枚	昭和9年3月1日消印	
3	三島通陽書簡	事務所収支予算表1部	昭和9年11月10日消印	
4	三島通陽書簡	事務所収支予算書(三島農場)1部	昭和9年12月18日消印	
5	三島通陽書簡	昭和十二年度三島農場収支予算書同封	昭和12年1月	
6	三島通陽書簡	三島農場の件	昭和13年1月14日	
7	三島通陽書簡	昭和拾参年度三島農場収支予算書	昭和13年1月15日	
b 書類・メモなど				
1	渋沢元治様	渋沢元治より銀時計を贈られた件。渋沢元治書簡(明治35年4月4日、年不明時計保証書より推測)1通、メモ(封筒にメモ)1枚、時計保険証(明治35年4月30日付)1通		1通
2	亡き母上(琴子)が計算せられた帳簿 余白を memo に使ふ			1綴
3	三島子爵家整理ノ件	日記(1)~(7)、(1)大正14年10月20日~15年5月21日、(2)大正15年10月19日~昭和3年7月4日、(3)昭和3年7月31日~4年3月28日、(4)昭和4年4月20日~5年10月4日、(5)昭和5年12月21日~8年7月5日、(6)昭和8年7月7日~11月9日、(7)昭和8年11月23日~9年5月22日、(8)昭和9年5月24日~昭和14年3月19日		1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
a 阪谷芳郎宛書簡				
1	萩野由次書簡	論語集解の件。萩野由次書簡(2月22日)1枚同封	大正5年2月18日	1通
2	萩野由次書簡	論語年譜の件。消印より推測	大正4年10月15日	1通
3	橋本圭三郎書簡	消印より推測。	大正4年3月8日	1通

4	穂積陳重書簡	芳郎・琴子宛。希一の第二高等学校入学の件。	明治□年8月6日	1通
5	三上参次書簡		大正4年8月31日	1通
6	三上参次書簡		大正4年9月9日	1通
7	八十島親徳書簡(渋沢事務所)	中井三之助の龍門社への寄付の件。	大正5年1月24日	1通
b 書類・メモなど				
1	青淵先生六十年史第二巻	メモ2枚、記念論文1枚		1通
2	五年一月十五日 朗廬先生贈位祝賀	内山丈平名刺1枚		1通

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
a 書簡				
1	物集伴次郎(神港倶楽部役員総代)	特別会員の件	昭和16年7月10日	1通
2	石黒忠恵宛阪谷家書簡一括	石黒から返却の阪谷家からの書簡、一部渋沢栄一書簡も同封		
b 書類など				
1	大正13年度税金			1冊
2	小石川原町阪谷邸改築収支帳		大正14年4月	2冊
3	八紘学園創設趣意		昭和4年	1冊
4	阪谷廃印	印鑑		
5	『国際知識』第四巻第四号	阪谷芳郎「思慮ある米国人に訴ふ(排日問題に関して)」掲載 『国際知識』第4巻第4号、国際連盟協会、大正10年4月発行		1冊
6	時事パンフレット第十三輯	阪谷芳郎「卅年前の非常時財政」掲載 『時事パンフレット第十三輯 回顧日露戦争を語る 外交・財政の巻』、時事新報社、昭和10年5月発行		1冊
7	バトラー "THE BELL IS RINGING"	1940年7月4日のコロンビア大学での講演の筆記		

番号	タイトル	備考	作成年月日	数量
a 書簡				
1	阪谷琴子書簡一括	芳郎の訪中時の書簡	大正9年	

2	渋沢栄一書簡	篤二の結婚につき（明治29年）、篤二の教育に関する礼状	年不明、6月24日	
3	渋沢栄一書簡	渋沢同族会社の組織の件	大正4年10月9日	
4	東京中央電話局書簡	電話の加入の件	大正8年4月17日	
5	林経明書簡		大正9年5月21日	
6	晴山庸三書簡	旅行装備の件	年不明9月3日	
7	美澤進書簡		[大正9年か] 6月2日	
8	物故セラレシ人の手紙 他人の手紙 その他			
9	□議一書簡	松井春生の件		
b 書類など				
1	阪谷男依頼ノ件	付岩倉季子成績表（大正2年2学期、学習院女学部）		
2	東京帝国大学学生監室 学資概要調			
c 琴子宛書簡				
1	織田国子書簡		年不明11月2日	
2	阪谷寿子書簡	名古屋在住時	大正8年9月7日、大正8年10月18日	
3	渋沢篤二書簡一括			
4	渋沢（穂積）孝子書簡一括			
5	鈴木保書簡一括			
6	高嶺和子書簡一括			
7	穂積陳重・歌子書簡一括			
8	堀切敏子書簡一括			